

# 天中だより

校訓  
自主 協和 強健

天草市立天草中学校  
令和6年2月16日  
文責 瀧森 智  
校長 瀧森 智

## 勇輝 ～ふみ出す一歩、夢への一歩～

### 新生徒会スローガン決まる

十五日（木）の生徒朝会で、令和六年度の生徒会スローガンは発表され、承認されました。

生徒会役員のみなさんが草案を作成し、ICT機器を駆使して全校生徒にアンケートを取り、『勇輝 ～ふみ出す一歩、夢への一歩～』というスロー

ガンができました。「勇輝」には、「勇気を出して努力した先に必ず光があり、一人一人が輝くことで天中全てが光になる。」という思いが込められています。サブテーマにあるように、勇気を出してふみ出す一歩が、自分の夢を実現させる一歩となります。互いに励まし合いながら、努力を重ねていき

勇輝  
～ふみ出す一歩、夢への一歩～



ましよう。今年度は『挑戦（チャレンジ）』から『上へ』というスローガンのもと、レベルアップ・スキルアップ・キヤリアップに取り組みました。更なる高みを目指してがんばりましょう。

天草中では、部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていくため、毎学期人権旬間を設け、人権学習を行っています。三学期は、一年生は「水俣病」、二年生は「高齢者・障がい者」、三年生は「ハンセン病」を題材に人権学習を行いました。

## 自分を見つめ、自他を大切にす

～校長室より～

誤解や決めつけ、予断・偏見が「差別」を生み出します。差別をなくしていくには、物事を「正しく理解」すること、「他人事ではなく自分事」として捉えることが必要です。これらのことを身に付けていくために、考えていきたいことが二つあります。

①自分を見つめ、よりよくしていく  
年齢や性別、立場に関係なく、向上心を持ち自分を少しでもよくしてい

## 国・数・英とも県・全国を上回る ～県学力・学習状況調査分析①～

12月に行われた県学力・学習状況調査の結果が届きました。

天草中生徒は、1・2年生とも良好な成績で、国語・数学・英語とも県や全国の正答率を上回る結果でした。日頃の取組が成果となっています。

子どもたちは、授業で課題の解決に向けてよく考え取り組んでいます。タブレット等を活用しながら、他者の考えを取り入れ自分の考えを深めていく、主体的な学習活動が行われています。個人表には、それぞれの課題とアドバイスが記されていますので、家庭学習でも活用してください。

これからも、小規模校・少人数であることの強みを生かし、チームで授業改善に取り組み、学力向上を図っていきたいと思います。



（裏の分析②には i-check について掲載しています。）

こうという気持ちが大切です。自分の夢や願いをかなえるため、しっかりと考え判断できるようになってほしいと思います。

### ② 周囲の人を大切にすること

自分の周りの人の気持ちを考えたり行動したり、周りの人を大切にしたりすることはなくてはならないことだと思えます。いくら自分のことが大切でも、周りの人はどうでもいいというわけではありません。周りの人のことを思いやり、気を配っていくからこそ、自分もさらに生かされていくのではないかと思えます。

そして、①②を合わせて、「自他の命を大切にすること」を忘れてはなりません。かけがえのない命（自分を含め

周りの人の命）を大切にし、精一杯生きていくことが大切です。そうすると、たくさんの喜びを味わうことができ、多くの貴重な経験ができるのではないかと思えます。

自分だけでなく周囲の人も気持ちよく幸せに過ごせるようにするために、まず身近で簡単なこと・当たり前なこと（例えば「気持ちのよいあいさつ」「掃除を丁寧に」「ゴミを拾う」「体をしっかり動かす」等）を習慣化することが大切だと思います。学校でも、いろいろな機会をとらえて呼びかけていきたいと思えます。

人権学習は、「自分を見つめ、自他を大切にす」気持ちを養う大切な学習です。まず、身近で簡単なことを大切にしていきたいです。



# おいしい給食に感謝！ 学校給食週間

一月二十四日から三〇日まで、全国学校給食週間でした。

給食のはじまりは明治三二年、山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）にある小学校とされています。そこから各地に広まっていきましたが、戦争による食料不足により一時中断せざるを得なくなりませんでした。

戦後になり、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める声が高まり、昭和二十一年六月にアメリカの救済団体から給食用物資の援助を受け、昭和二十二年一月から学校給食が再開されました。

昭和二十二年十二月二四日に給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来この日を「学校給食感謝の日」と定めました。その後、昭和二十五年から冬休みと重ならない一月二四日から三〇日までの一週間が「学校給食週間」となりました。

この期間は、学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員、保護者や地域住民の理解を深め、関心を高めることを目的としています。

本校でも、生徒朝会で健康体育委員会による給食の歴史の紹介がありました。給食が始まった当時のメニュー



## 発信力を身に付け、生活習慣を見直そう！ ～県学力・学習状況調査分析②i-check編～

i-check とは、生徒1人ひとりが自分らしさを大切にしながら、学校生活の中で自分の力を発揮できるよう、自分の生活や心の中を振り返るアンケートです。本校の結果は次のようになりました（数字は、全国を50としたときのスコアです）。

	全国	2年	1年	
自己認識	◆家族のささえ	50	51.1	50.2
	◆友だちのささえ	50	54.2	50.1
	◆先生のささえ	50	55.8	53.0
	①成功体験と自信	50	53.8	52.3
	②充実感と向上心	50	49.9	51.4
社会性	③感動体験	50	51.0	50.9
	④他者からの評価	50	51.3	52.0
	⑤規範意識	50	56.9	56.5
	⑥思いやり(人間関係構築力)	50	53.5	49.6
	⑦発信力	50	49.8	48.7
学級環境	◆対話・話し合い	50	59.5	54.7
	⑧社会参画	50	57.4	55.9
	◆学級の規範意識	50	51.9	56.4
	⑨学級の絆	50	58.5	55.3
	◆いじめのサイン	50	54.2	52.0
生活・学習習慣	◆対人ストレス	50	53.6	53.6
	⑩生活習慣	50	49.1	49.2
	⑪学習習慣	50	51.1	53.3
平均	50	53.4	52.3	

上の表のように、本校生徒は「対話・話し合い」ができ「学級の絆」が構築されている集団で、「社会参画」の意識も高いといえます。しかし、1・2年とも「発信力」「生活習慣」に課題を感じています。学校教育活動で発信力を高め、ご家庭と協力しながら生活習慣の改善を図っていきたく思います。



『天草中学校HP』では、日々の出来事や本日の給食を掲載しています。左のQRコードから閲覧できます。ご覧ください。

学校給食は、子どもたちの心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた食事を提



また、この期間に合わせて、学校栄養職員の梶山先生が給食に時間を各学年を回り、給食に関する講話を行いました。ふだんは見ることのない給食センター内の様子や、調理員の方々の思いを知ることができました。



給食の「有難さ」を理解し、「いただきます」の意味を確認する大切な機会となりました。

安全や衛生に気をつけることや食事のマナーを学ぶだけでなく、地域の食材を使ったり、郷土食や行事食を提供したりすることで、地域の文化や伝統に対する理解と関心を深めることも目的としています。

## 今後の主な行事予定

- 【二月】二〇日(火)・・・二年学年末テスト(～二二日)・ノー部活デー 二二日(木)・・・三年図書貸出最終日 二三日(金)・・・天皇誕生日 二六日(月)・・・二年教育相談(～二九日)
- 【三月】一日(金)・・・下校時間移行(SB②18:00) 三日(日)・・・椿まつり 四日(月)・・・公立高校後期選抜事前指導 五日(火)・・・公立後期選抜入試(～六日)・生徒朝会 六日(水)・・・天草っ子チャレンジデー 七日(木)・・・いるか号 八日(金)・・・三年修了式、卒業式予行・準備 一〇日(日)・・・卒業証書授与式 一一日(月)・・・振替休業日(一〇日の分) 一三日(水)・・・公立高校合格発表、あいさつ運動 一五日(金)・・・一・二年図書貸出最終日、生徒議会